

グループ/モデル名変更時の影響および変更手順

対応バージョン

SSC2.0 / SSC2.1

概要

SystemProvisioning でグループ/モデル名を変更する場合、DeploymentManager および、 SystemMonitor 性能監視に影響があります。ご利用の機能により、以下の設定変更が必要となります。

[SystemMonitor 性能監視]

SystemMonitor 性能監視で SystemProvisioning のシステム構成情報の反映機能を利用している場合は、SystemMonitor 性能監視で設定されているグループパスを変更してください。

VM 最適配置機能(負荷分散・省電力)の対象であるグループのグループ名を変更した場合、SystemMonitor 性能監視上の閾値通報設定が既定値にリセットされます。通報設定を既定値から変更している場合、再設定が必要となります。

(閾値監視設定ダイアログ上の閾値定義として、青色の文字で表示されている閾値定義が対象となります。)

[DeploymentManager]

SystemProvisioning で仮想マシンを稼動した際に DPM に自動登録する設定をしている場合は、DeploymentManager に登録されている VM のグループ名を変更してください。

(SystemProvisioning の VM モデルのプロパティにて「VM を作成した時、DPM に登録する」にチェックを入れている場合、DPM への自動登録が設定されています。)

グループ/モデル名を変更する前に

[SystemMonitor 性能監視]

SystemProvisioning のシステム構成情報の反映機能を利用している場合は、以下の手順を実施してください。システム構成情報の反映機能を利用していない場合は、必要な設定はありません。

[変更手順]

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
- 2) ツリーペインから対象の管理サーバを選択し、右クリックメニューから環境設定ダイアログを起動します。
- 3) SystemProvisioning タブを開き、"SystemProvisioning からの自動構成反映を有効にする"が ON になっている場合、OFF にしてダイアログを閉じます。
- 4) VM 最適配置機能を使用している場合は、5)~8) の手順に従って、閾値通報設定の内容を確認してください。
- 5) ツリーペインから対象の管理サーバを選択し、右クリックメニューから閾値監視設定ダイアログを起動します。
- 6) 対象の閾値定義を選択し、変更ボタンを押下して閾値定義設定ダイアログを起動します。
- 7) 通報設定タブを開き、設定内容を確認します。
- 8) すべての対象の閾値定義に対して、6)、7) の手順を繰り返します。

グループ/モデル名を変更する

[SystemProvisioning]

SystemProvisioning でグループ/モデル名を変更します。SystemProvisioning でグループ/モデル名を変更する前に、ジョブが実行されていないことを確認してください。

グループ/モデル名を変更した後に

[DeploymentManager]

DPM に自動登録する設定をしている場合は、DeploymentManager に登録されている VM のグループ名を変更してください。

[変更手順]

- 1) DeploymentManager の Web コンソールを開きます。
- 2) 更新権を取得します。
- 3) SystemProvisioning で変更したグループ名 (*1)を含む、DeploymentManager のグループを右クリックし「グループ名の変更」より変更してください。
- 4) 更新権を開放します。

注：更新権取得中は SigmaSystemCenter から DeploymentManager の機能が使用できません。そのため、SigmaSystemCenter からのシャットダウンやリソース割り当てなどの処理がエラーとなります。

[SystemMonitor 性能監視]

SystemProvisioning のシステム構成情報の反映機能を利用している場合は、以下の手順を実施してください。システム構成情報の反映機能を利用していない場合は、必要な設定はありません。

[変更手順]

- 1) SystemMonitor 性能監視の管理コンソールを起動します。
- 2) ツリーペインから対象の管理サーバを選択し、右クリックメニューから環境設定ダイアログを起動します。
- 3) SystemProvisioning 運用管理コンソールで名前を変更するグループに対応するグループのグループ設定を開き、パス情報を変更後の SystemProvisioning グループパスに変更します。
- 4) 全ての対象グループのパス情報を更新した後、「グループ名を変更する前に」の手順で変更した、SystemProvisioning からの自動構成反映機能の ON/OFF を元の状態に戻し、ダイアログを閉じます。
- 5) ツリーペインから対象の管理サーバを選択し、右クリックメニューから SystemProvisioning 構成反映を実行し、構成情報が正しく反映されることを確認します。
- 6) VM 最適配置機能を使用している場合は、7)~10) の手順に従って、閾値通報設定の内容を再設定してください。
- 7) ツリーペインから対象の管理サーバを選択し、右クリックメニューから閾値監視設定ダイアログを起動します。
- 8) 対象の閾値定義を選択し、変更ボタンを押下して閾値定義設定ダイアログを起動します。
- 9) 通報設定タブを開き、「グループ名を変更する前に」の手順で確認した通報設定の内容で再設定します。
- 10) すべての対象の閾値定義に対して、8)、9) の手順を繰り返します。

(*1) SSC2.1 update2 において、DPM ヘマシンを登録する際に、「グループ名/モデル名」で登録する機能が追加されました。

SSC2.1update2 以降を新規インストールした場合、DPM へ登録されるグループ名は、"グループ名/モデル名"となります。

SSC2.1update1 以前、およびアップグレード時は、従来通りグループ名のみで登録されます。

作成日:2008/06/30

更新日:2010/06/25